



平成27年7月27日

各位

会社名 太洋工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 細江美則  
 (JASDAQ・コード: 6663)

問合せ先  
 役職・氏名 取締役管理本部長 阪口豊彦  
 電 話 073-431-6311

営業外収益の計上、及び平成27年12月期 第2四半期累計期間  
 業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年12月期第2四半期連結累計期間において、下記のとおり営業外収益を計上しましたのでお知らせいたします。

また、当社は、本日開催の取締役会において、平成27年1月30日付当社「平成26年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表しました平成27年12月期第2四半期累計期間(平成26年12月21日～平成27年6月20日)の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 営業外収益の内容

貸付金、売掛金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため貸倒引当金を計上しておりますが、当社個別決算において、連結子会社である(株)ミラック及び一般債権に対する貸倒引当金戻入額22百万円を営業外収益に計上いたします。

なお、(株)ミラックに対する貸倒引当金戻入額15百万円は、連結上相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

## 2. 平成27年12月期 第2四半期累計期間連結業績予想の修正等

	売上高	営業損益	経常損益	四半期純損益	1株当たり 四半期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	2,309	16	12	2	0.50
今回修正 (B)	2,247	△8	4	△5	△0.93
増減額 (B-A)	△61	△24	△8	△8	—
増減率 (%)	△2.7	—	△63.0	—	—
ご参考：前期第2四半期実績 (平成26年12月期第2四半期)	1,930	△45	△20	△32	△5.51

## 3. 平成27年12月期 第2四半期累計期間個別業績予想の修正等

	売上高	営業損益	経常損益	四半期純損益	1株当たり 四半期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	2,147	△8	△6	△11	△1.93
今回修正 (B)	2,063	△34	△0	△5	△0.98
増減額 (B-A)	△84	△25	6	5	—
増減率 (%)	△3.9	—	—	—	—
ご参考：前期第2四半期実績 (平成26年12月期第2四半期)	1,774	△56	△54	△61	△10.57

#### 4. 修正理由

第2四半期累計期間連結業績予想については、商社事業において液晶モジュール検査システムの販売が増加した一方で、基板検査機事業において外観検査機及び通電検査機の受注が計画どおり進捗しなかったこと等から、売上高は当初予想を若干下回る見込みであります。損益については、上記のとおり貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上したものの、電子基板事業及び検査システム事業において、当初予想より売上高外注加工費率が上昇し売上総利益率が低下したことから、営業損益は当初予想より悪化、経常損益は当初予想より下回り、四半期純損益は当初予想より悪化する見込みであります。

第2四半期累計期間個別業績予想については、第2四半期累計期間連結業績予想と概ね同様の理由により、当初予想と比較して売上高は下回り、営業損益は悪化、経常損益及び四半期純損益は損失が縮小する見込みであります。

なお、通期業績予想については、当初予想を据え置くことといたしますが、修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

#### 5. 平成27年12月期配当予想

第2四半期末配当金及び期末配当金については、平成27年1月30日付当社「平成26年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」からの変更はありません。

※本業績予想等については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上